

2 輸送ネットワークの拡充

2-(1) 新線の開業と相互直通運転

近年では、2008年10月19日に京阪中之島線(天満橋～中之島間)が、2009年3月20日に阪神なんば線(阪神尼崎～大阪難波間)が、また、2010年7月17日には、京成成田空港線(成田スカイアクセス、京成高砂～成田空港間)が開業しました。

相互直通運転は、他の鉄道会社路線への乗り換え等の不便解消を図るほか、所要時間の短縮、ターミナルの混雑緩和などに大きな効果を発揮しています。

2009年3月に、阪神なんば線の開業により阪神線と近鉄線との相互直通運転が開始されました。また、2013年3月16日には東京メトロ副都心線と東急東横線との相互直通運転が開始されたことにより、東武東上線、西武有楽町線・池袋線、東京メトロ副都心線、東急東横線、横浜高速みなとみらい線の5社にわたる広域なネットワークが形成されました。

現在、相鉄線とJR線、相鉄線と東急線を結ぶ連絡新線が建設されており、それぞれ相互直通運転を開始する予定です。

優等列車においても、2006年3月に東武鉄道がJR東日本と、JR新宿～東武日光・鬼怒川温泉間で特急列車の相互直通運転を開始したのに続いて、2008年3月には小田急の特急ロマンスカーが東京メトロ線への乗り入れを開始するなど、更なる輸送サービスの向上に取り組んでいます。

☞ 参考資料P42～44



京成スカイライナー



近鉄線を走る阪神1000系



特急ロマンスカー・MSE(60000形)

2-(2) 他交通機関との結節点の新設

各社では他交通機関との連携を図り、ネットワークを拡充する取り組みも見られます。

羽田空港が再拡張し本格的に国際化したことに対応し、2010年10月21日に新しい国際線ターミナルビルに直結する京急空港線・羽田空港国際線ターミナル駅が開業しました。

また、京都縦貫自動車道・長岡京IC付近において、2013年12月21日に阪急京都本線・西山天王山駅が開業しました。同駅開業によって周辺地域の利便性向上のほか、高速バスストップで京都縦貫自動車道、名神高速道路などを走行する高速バスとの乗り継ぎや、併設したパーク&ライド駐車場を活用したマイカーから公共交通への乗り継ぎが容易になりました。



羽田空港国際線ターミナル駅



西山天王山駅